

平成 30 年度

学生生活満足度調査報告書

1 年生

金城大学短期大学部
学生部

目 次

I. 学生生活満足度調査について	1
II. 調査結果	
(1) 【学修支援について】(問1～2)	2
(2) 【学校生活支援について】(問3～4)	3
(3) 【キャンパス環境・施設・設備について】(問5)	4
(4) 【短大生活について】①1年間の学修成果について(問6～10)	12
②進路について(問11～12)	14
③学校生活について(問13～18)	15
III. 自由記載	18
IV. 今年度の結果について	20

I. 学生生活満足度調査について

本調査は、本学の学生を対象に実施しているアンケート形式の調査である。授業から設備、人間関係に至るまで学生生活全般について、四段階で満足度を調査している。平成19年には『学生生活満足度調査による自己点検評価報告書』を作成し、調査結果の詳細な分析を行った。

平成23年には設問を全面的に見直し、またマークシート方式ではなくウェブ上での入力とした。さらに設問ごとに自由記載の項目を設け、学生の意見を幅広く収集できる様式とした。

今回の調査の実施日、実施方法、対象者、回答者数等は下記の通りである。

○実施日

平成31年1月15日（火）～2月9日（土）

○実施方法

必修授業の最終回、もしくは必修授業の試験終了後、授業担当教員または試験監督の教員が学生をコンピュータ室へ誘導し、事務担当者がウェブ入力による回答方法を教示したうえで、後期の授業アンケートとあわせて学生生活満足度調査への回答を依頼した。なお、1年生担任は、これらの調査等の実施について、学生に対して事前告知を行い、回答者としての意識を喚起した。

○対象者

金城大学短期大学部 1年生 274名

○回答者数（学生数、回収率、昨年度の回収率、一昨年度の回収率）

ビジネス実務学科：97名（117名、82.9%、88.0%、92.0%）

美術学科：43名（49名、87.7%、71.0%、27.9%）

幼児教育学科：100名（108名、92.5%、94.5%、84.4%）

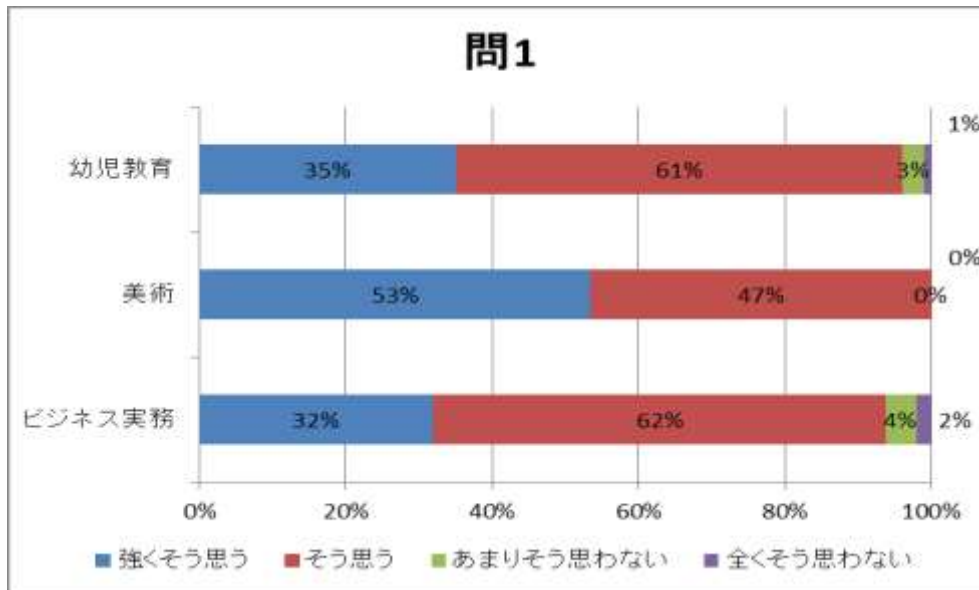
合計：240名（274名、87.5%、87.7%、71.1%）

全体の回収率は87.5%となり、昨年度（87.7%）とほぼ同様の水準を確保した。

II. 調査結果

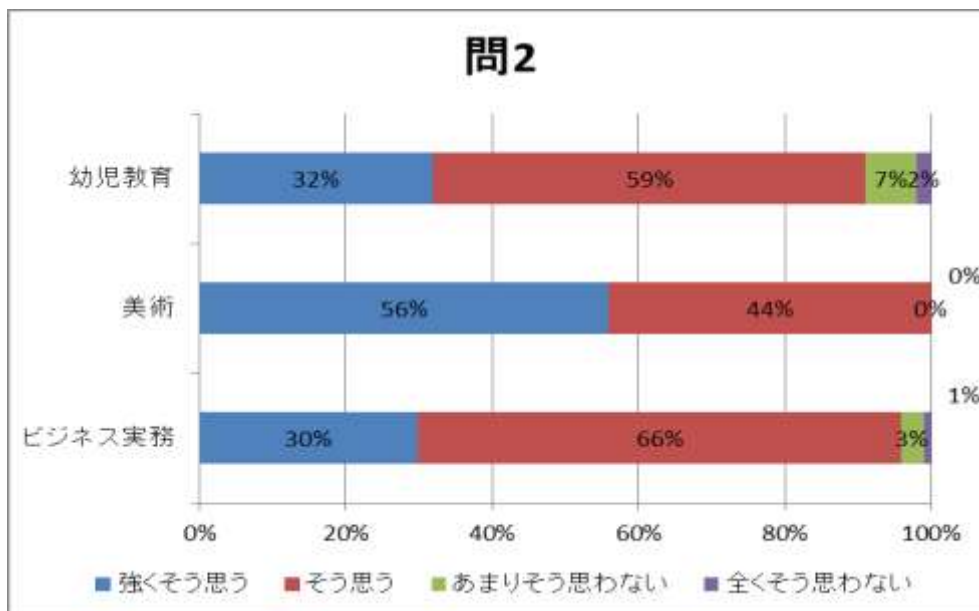
(1) 【学修支援について】

問1. 1年間の授業内容に満足できた



全学科で90%以上の学生が肯定的回答（「強くそう思う」「そう思う」）を選択しており、満足度が高い。特に美術学科では、「強くそう思う」が昨年の27%から53%へと大幅に増加した。

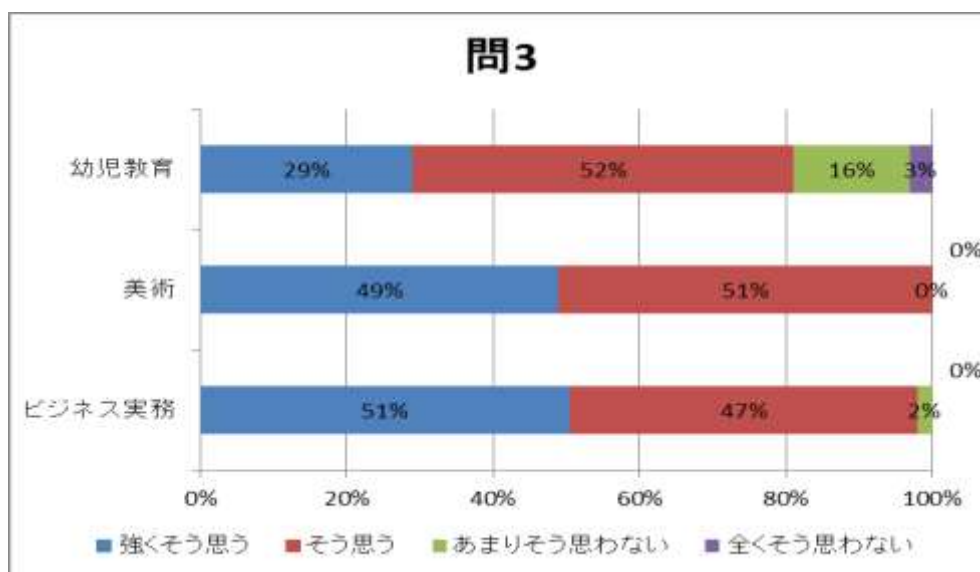
問2. 授業時間外の学習支援は満足いくものだった



全学科で90%以上の学生が肯定的回答を選択しており、授業時間外の学習支援については、概ね満足している。美術学科では肯定的回答が100%であった。今後も継続して授業時間外の学習支援を行いたい。

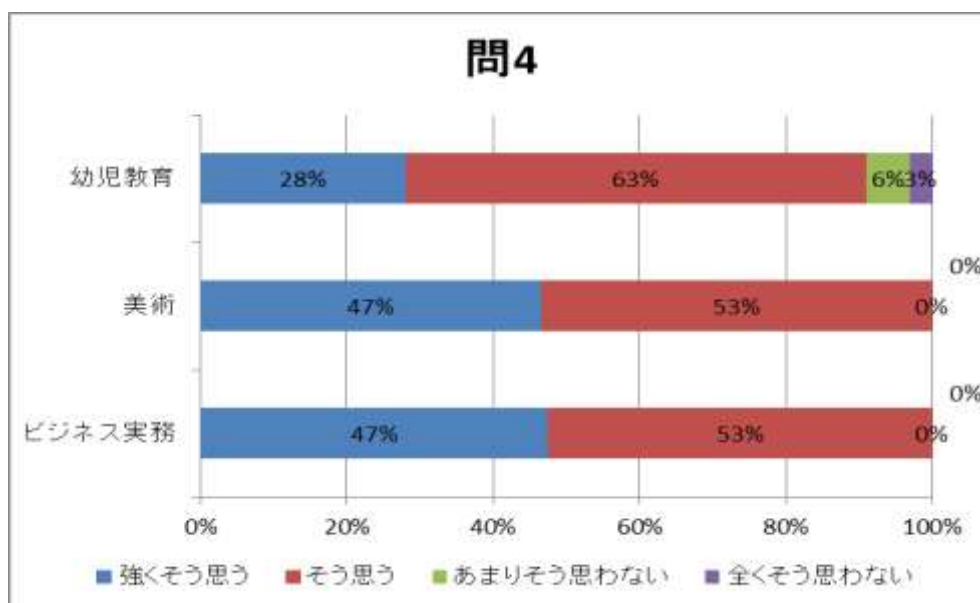
(2) 【学校生活支援について】

問3. クラス担任の対応に満足できた



美術学科では全学生が肯定的回答を選択していることから担任の対応に満足しているといえる。ビジネス実務学科においても、肯定的回答が昨年の81%から98%へ増加した。幼児教育学科では19%の学生が否定的回答を選択しているが、昨年の25%からは減少している。今後も改善を図る必要がある。

問4. 事務窓口の対応に満足できた

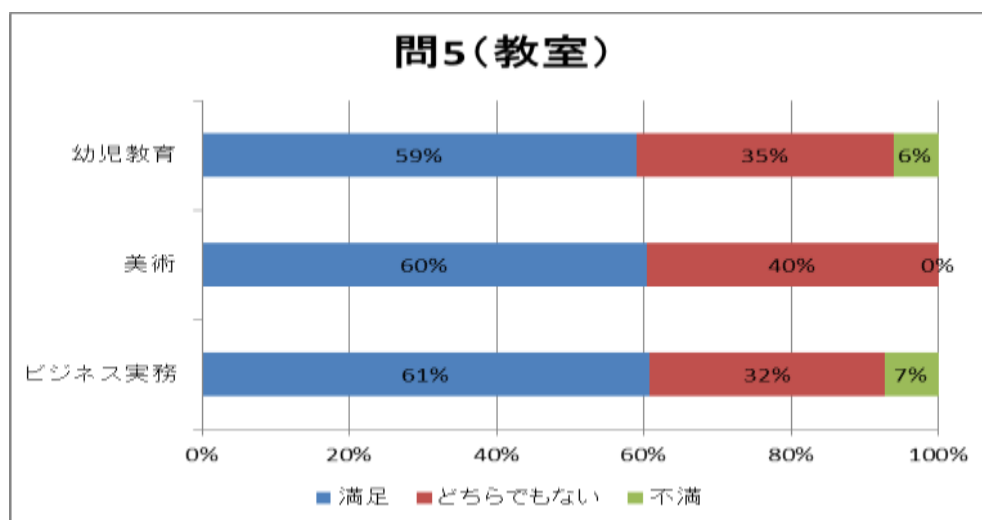


全学科で90%以上の学生が肯定的回答を選択していることから、事務窓口の対応には概ね満足しているといえる。自由記載でも否定的なコメントは少なく、昨年同様に事務窓口の対応の満足度は高く推移している。

(3) 【キャンパス環境・施設・設備について】

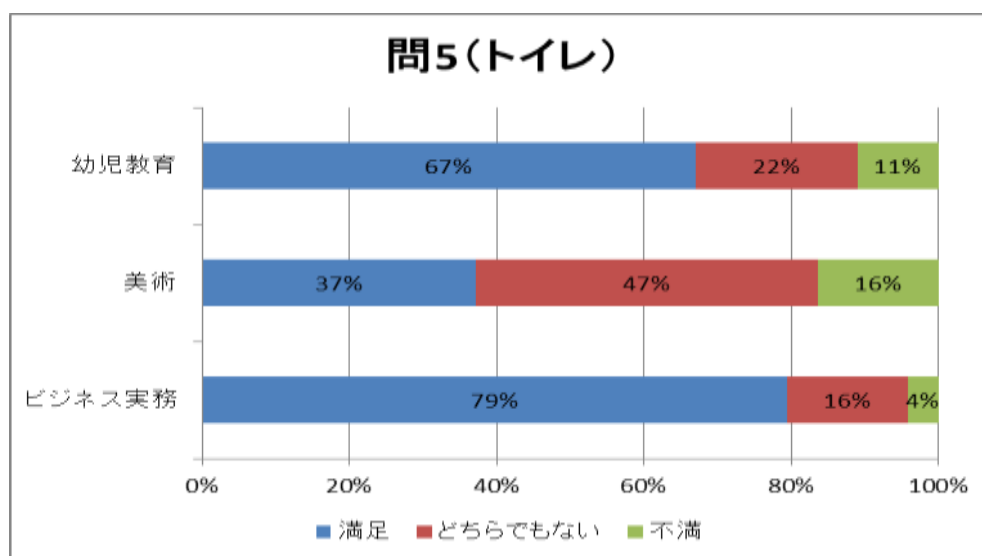
問5. キャンパス環境・施設・設備に満足できた

■教室



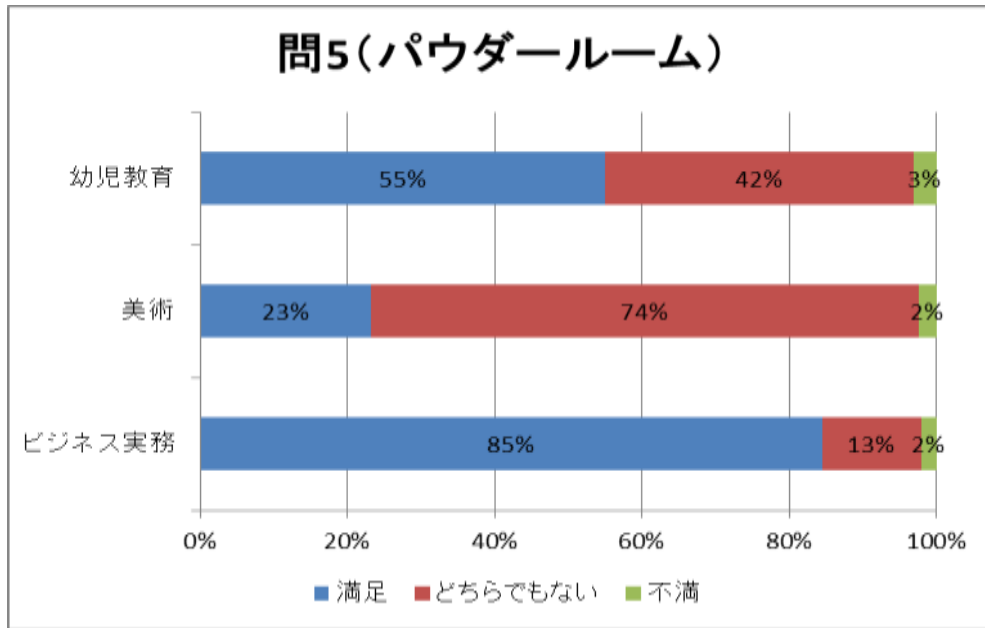
全学科で90%以上の学生が肯定的回答を選択していることから、教室の満足度は高いといえる。自由記載では具体的な意見は寄せられていないが、引き続き改善していきたい。

■トイレ



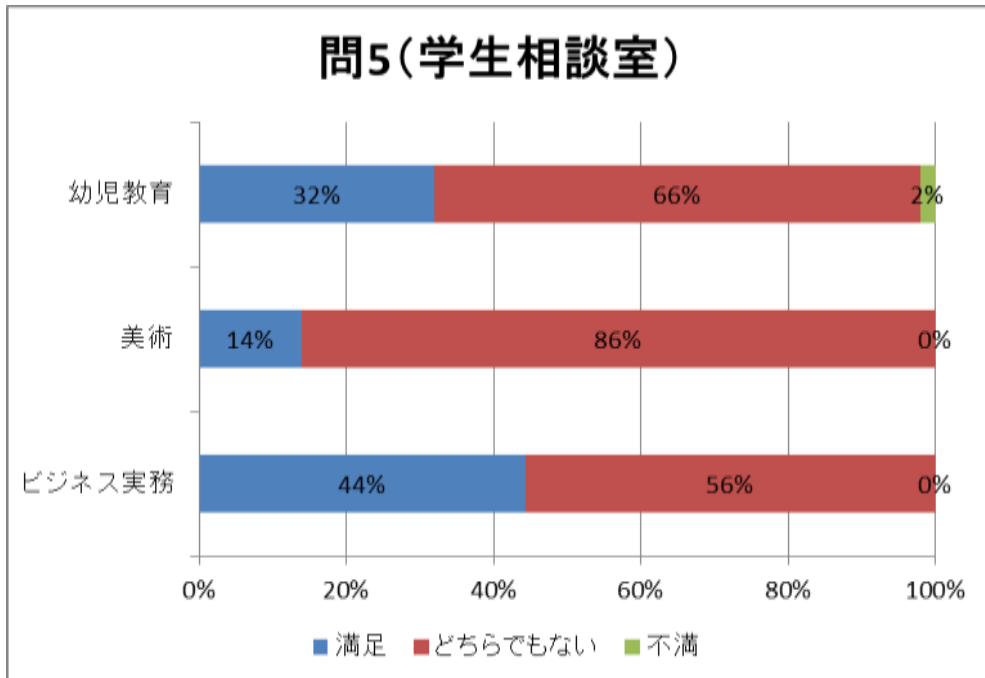
2018年度にトイレを和式から洋式へ改修する工事を行った。昨年と比べて、「満足」の割合が、幼児教育学科では20%から67%へ、ビジネス実務学科では13%から79%へ大幅に増加した。しかし、美術学科の自由記載において、工事後の美術棟トイレ出入口に増築した壁により、出入りする人にぶつかりやすくなったとの意見があったため、何らかの対策を考える必要がある。

■パウダールーム



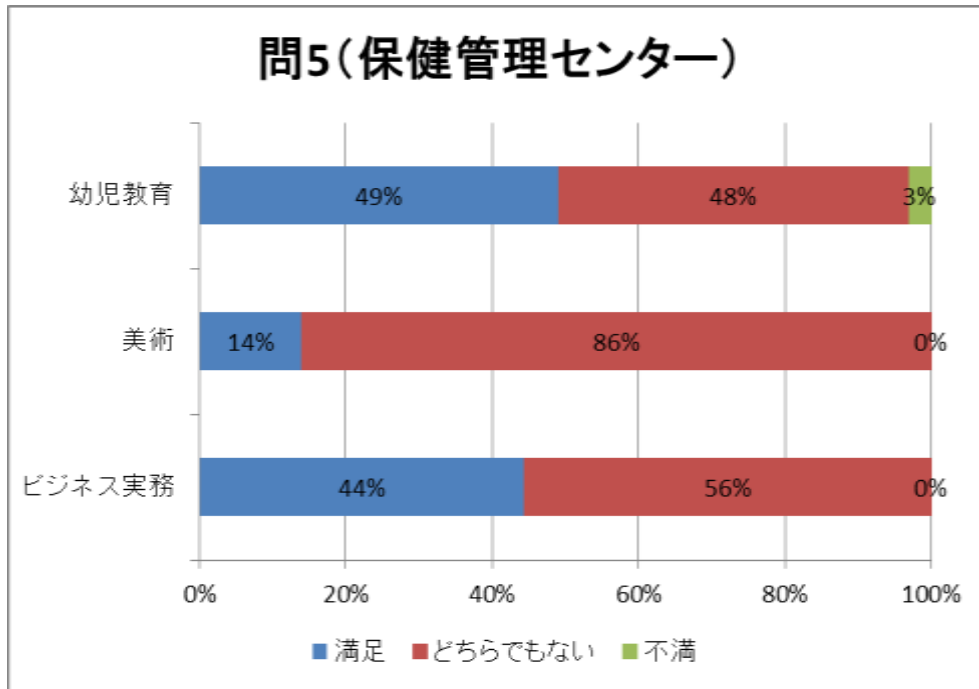
2018年度に第一食堂付近に新設したパウダールームについて、ビジネス実務学科で「満足」の割合が大きく満足度が高い。しかし、美術学科では「どちらでもない」が74%の割合を占めており、利用する機会が少なかったのではないかと推測する。

■学生相談室



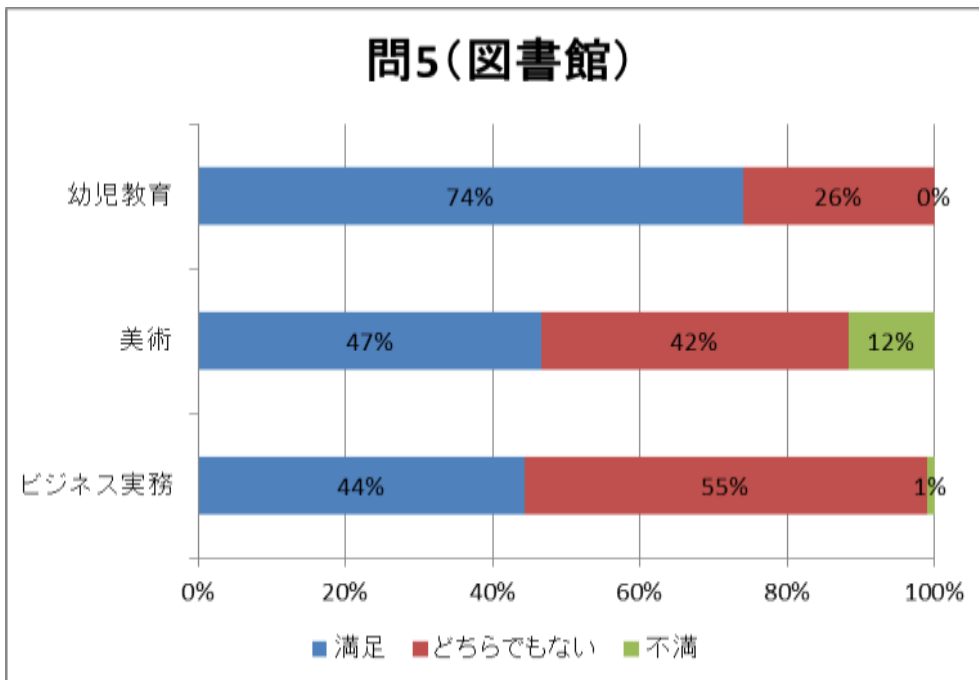
全学科で「どちらでもない」の回答が多いが、全学科で「満足」の割合は昨年と比べて増加している。学生相談室は、個人的に相談が必要な一部の学生が利用する部屋であり、また、日ごろから各教員が研究室等で学生相談に応じているため、本結果となったと推測する。

■保健管理センター



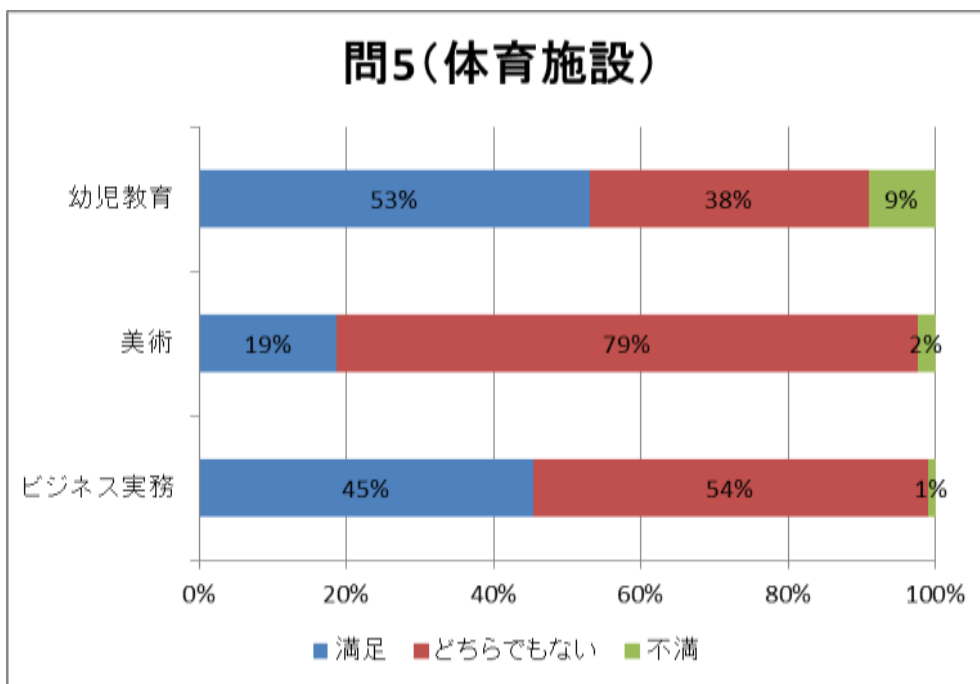
全学科で「満足」の割合は昨年から増加しているが、「どちらでもない」の回答が多い。利用する学生が少ないことが、本結果となったと推測する。

■図書館



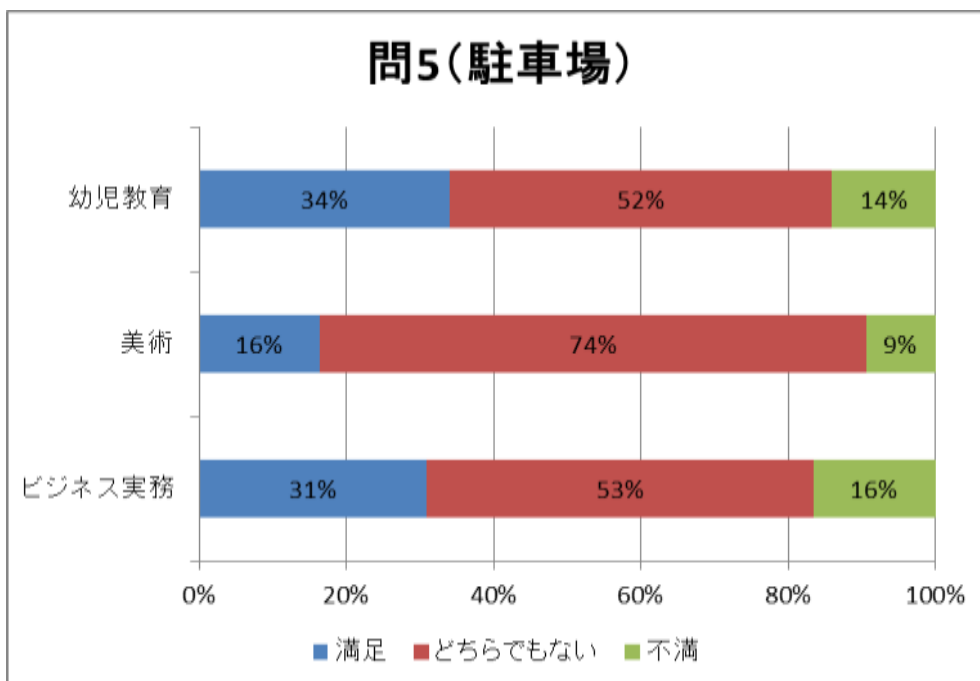
全学科で「満足」の割合が昨年と比べて増加している。これは、授業を通じて図書館を利用する機会が増えたためと考える。美術学科で「不満」が12%であることから、今後もさらに改善を図りたい。

■ 体育施設（日光アリーナ・多目的グラウンド・陸上競技場・テニスコート等）



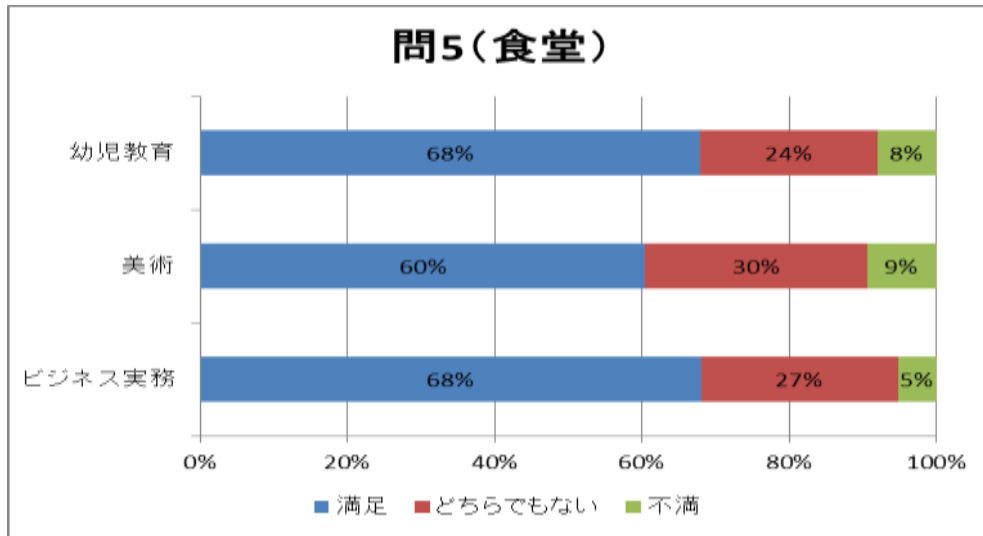
全学科で肯定的回答の割合が少ないが、否定的回答も少ない。スポーツの授業以外で利用する機会が少ないためと推測するが、利用しやすい体育施設となるよう工夫を加えたい。

■ 駐車場



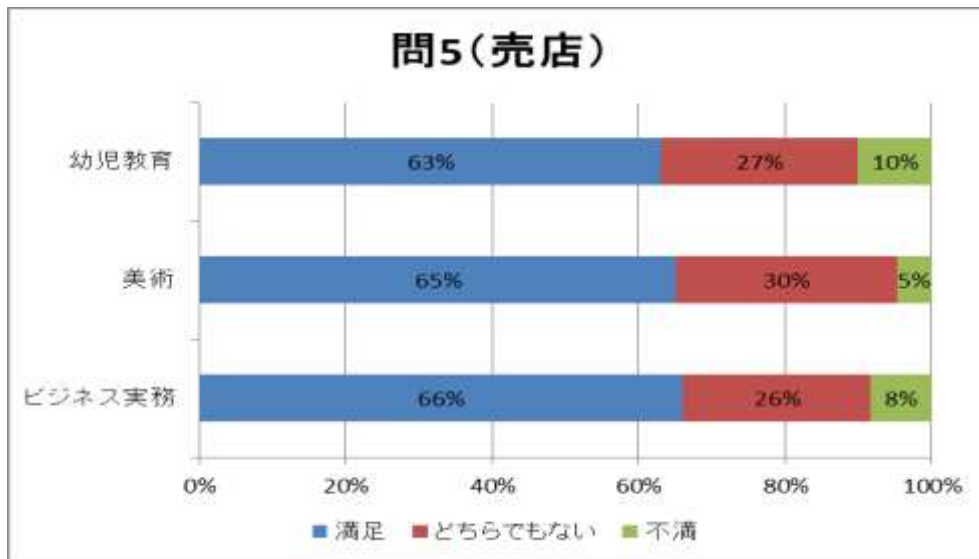
全学科で「満足」の割合が昨年と比べて増加している。自由記載の意見から、駐車場の白線が消えかかっていること、短期大学部棟から駐車場が遠いこと、が否定的意見として挙げられており、対応できることから改善を図りたい。

■食堂



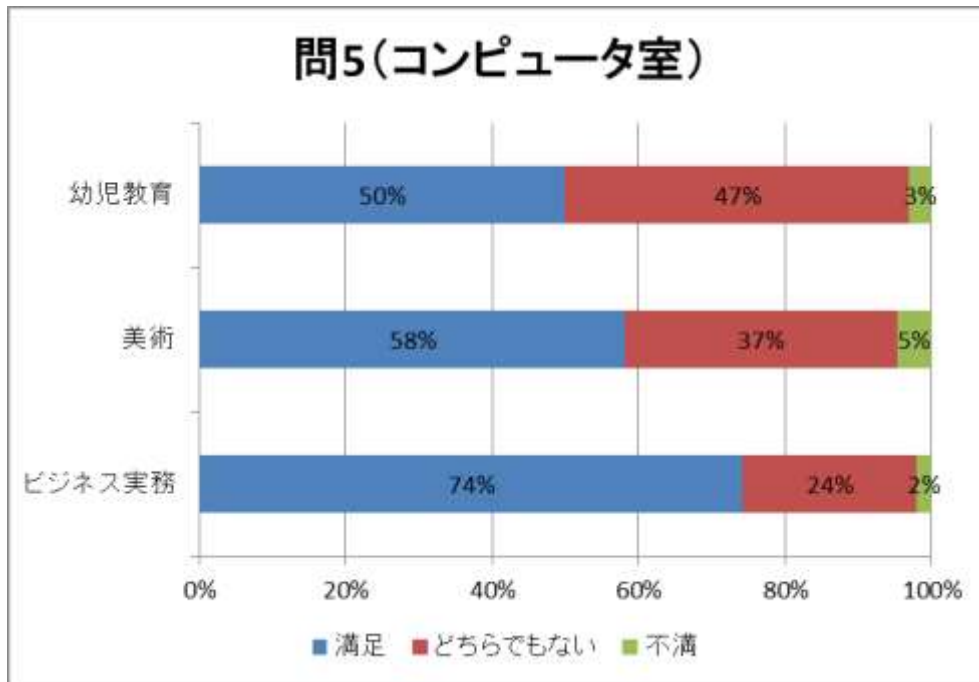
全学科で「満足」が60%以上であり、昨年と比べて大幅に増加している。期間限定のランチメニューの提供や、低価格の価格設定が学生の満足を得ることができたと考える。

■売店



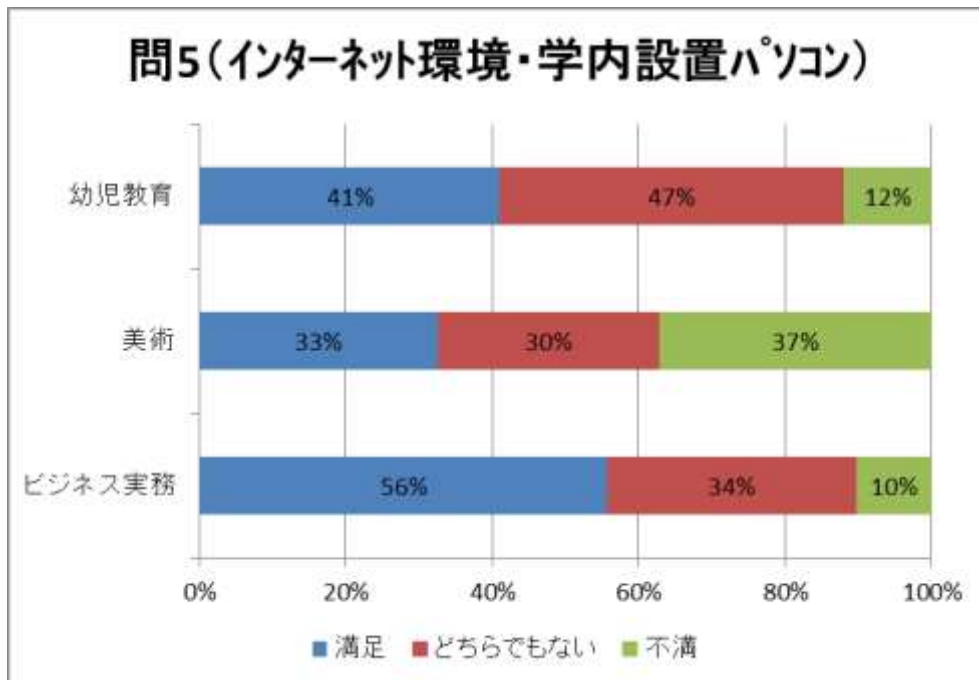
全学科で「満足」が60%以上であり、昨年と比べて大幅に増加している。売店の営業は19時まで延長するなど、可能な限り対策をしており、この評価につながったのではないかと考える。自由記載の回答から、否定的回答として、短期大学部棟から遠いといった意見があり、対応を検討したい。

■コンピュータ室



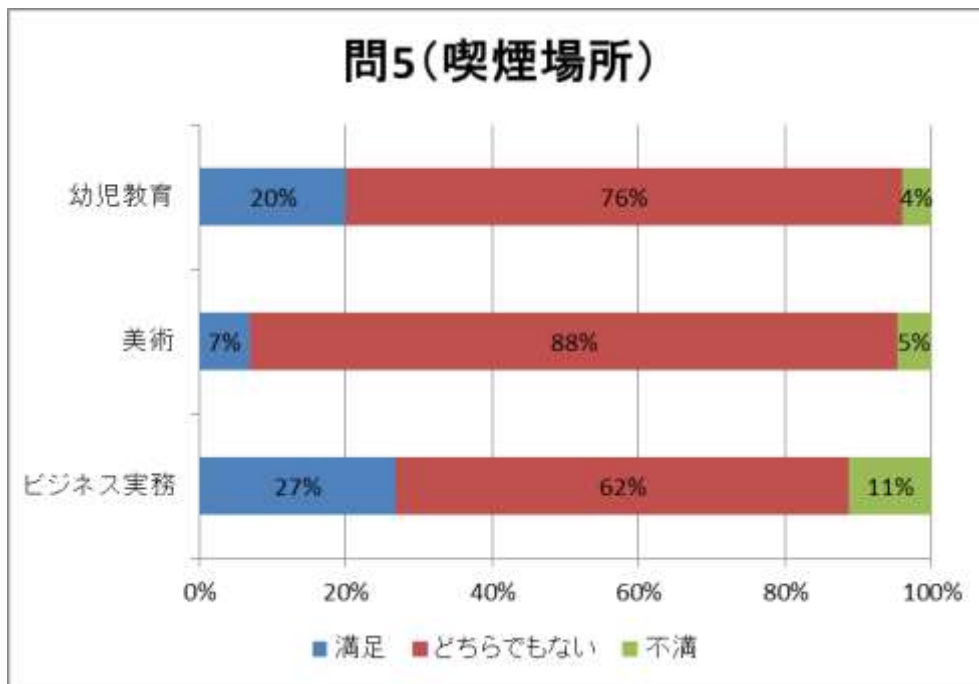
全学科で「満足」の割合が昨年と比べて大幅に増加している。操作がわからない時の指導など、きめ細かい対応から本結果に繋がったと考える。

■インターネット環境・学内設置パソコン



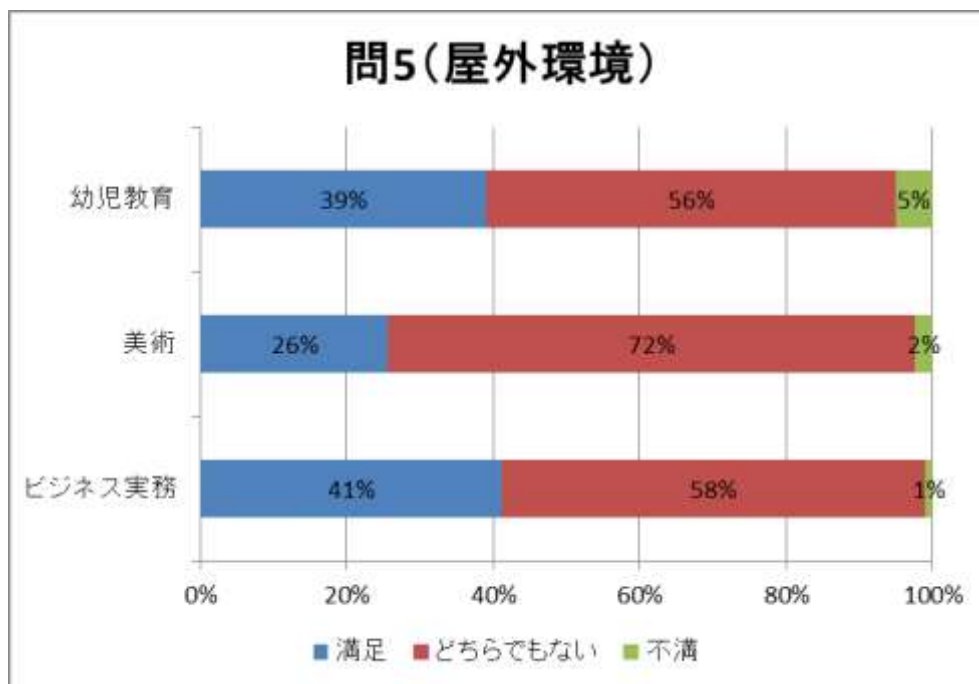
幼児教育学科およびビジネス実務学科では肯定的回答の割合が多いが、美術学科では「不満」の回答が多い。美術学科棟の Wi-Fi 環境が不十分であることが原因と考えるが、教育的効果を考慮したうえで、改善を検討したい。

■喫煙場所



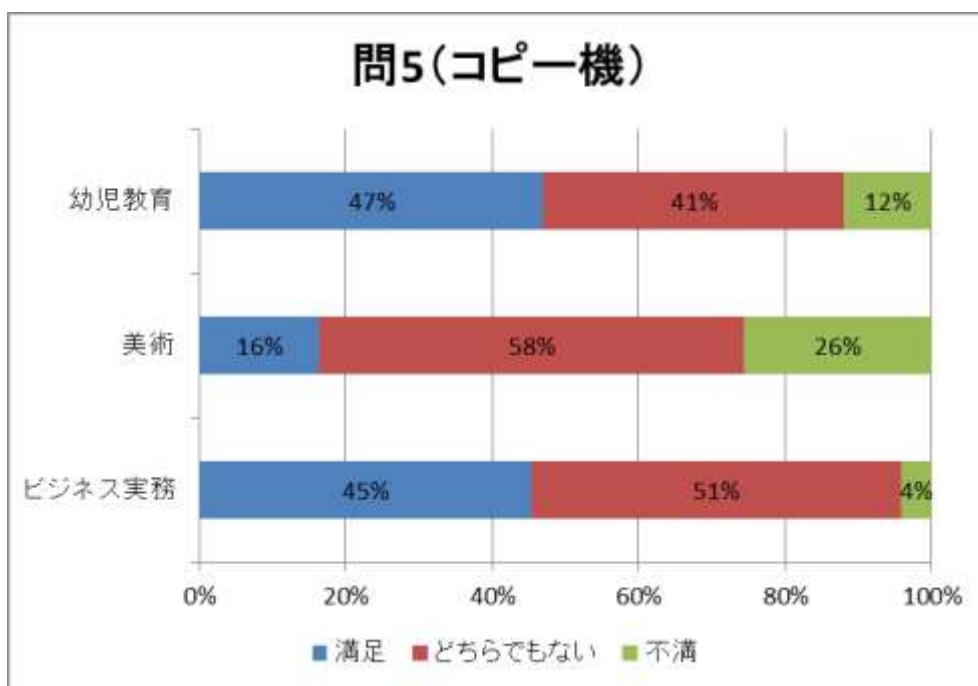
利用する学生が少ないことから、全学科で「どちらともいえない」が大半であった。

■屋外環境 (ベンチ・芝生等)



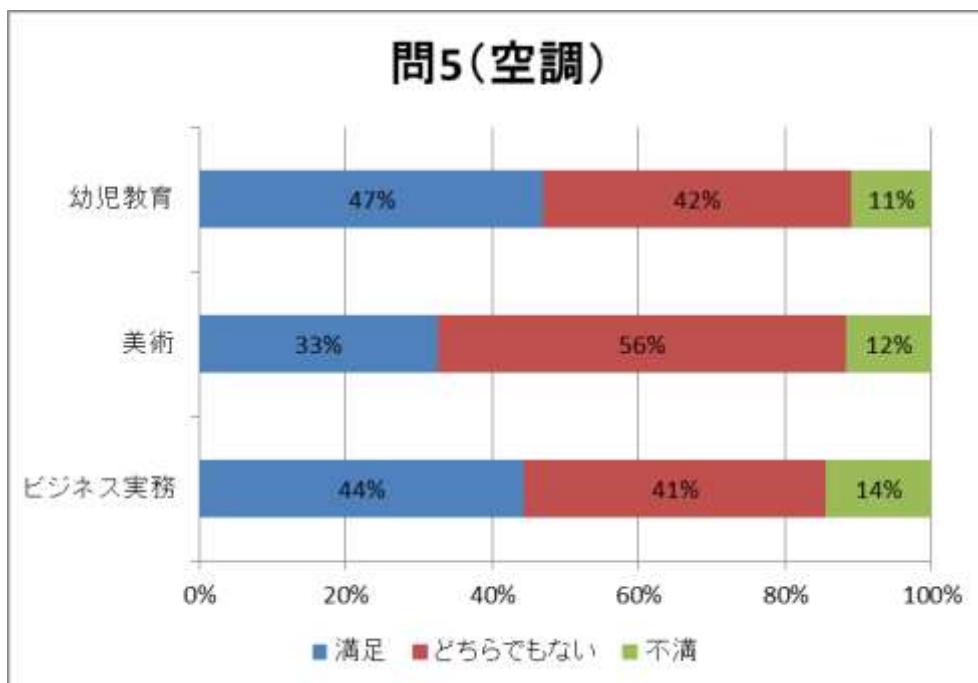
全学科で「どちらともいえない」という回答が多い。卒業記念植樹を通じて屋外における緑の環境を充実させるなど、より快適な屋外環境の整備を図りたい。

■コピー機器



全学科で少なからず「不満」の回答があり、美術学科の自由記載では、コピー機の調子が悪い等の回答があった。定期的なメンテナンスを行うなど、改善を図りたい。

■空調

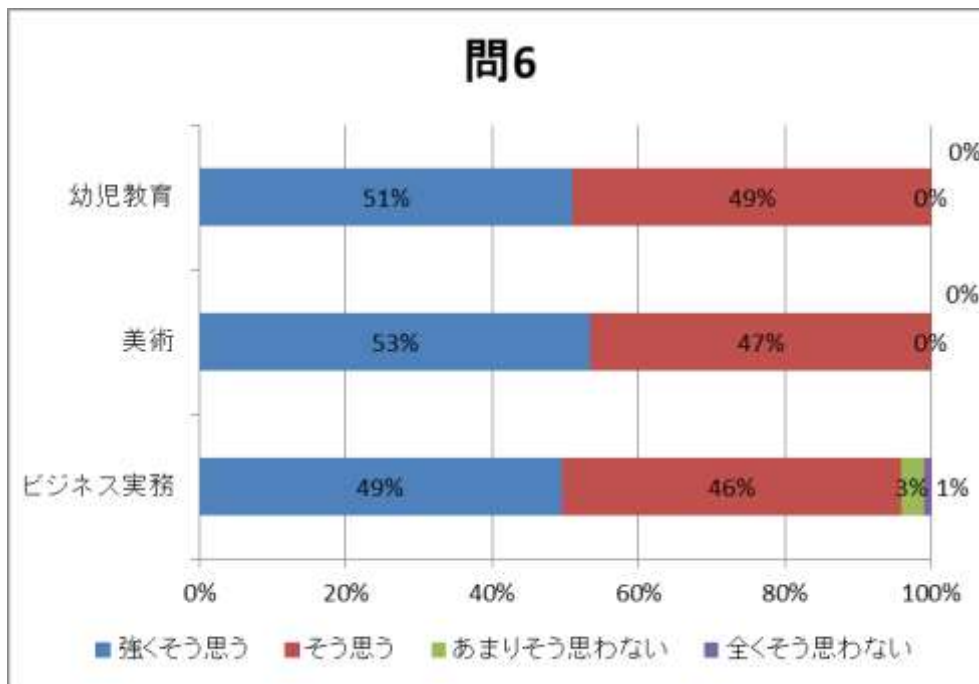


全学科で「満足」の割合が昨年と比べて大幅に増加している。2018年度に短期大学棟(ビジネス実務演習棟、美術学科棟)の空調工事を行ったことによると考える。

(4) 【短大生活について】

① 1年間の学修成果について

問6. 将来に役立つ知識や技術が身についた

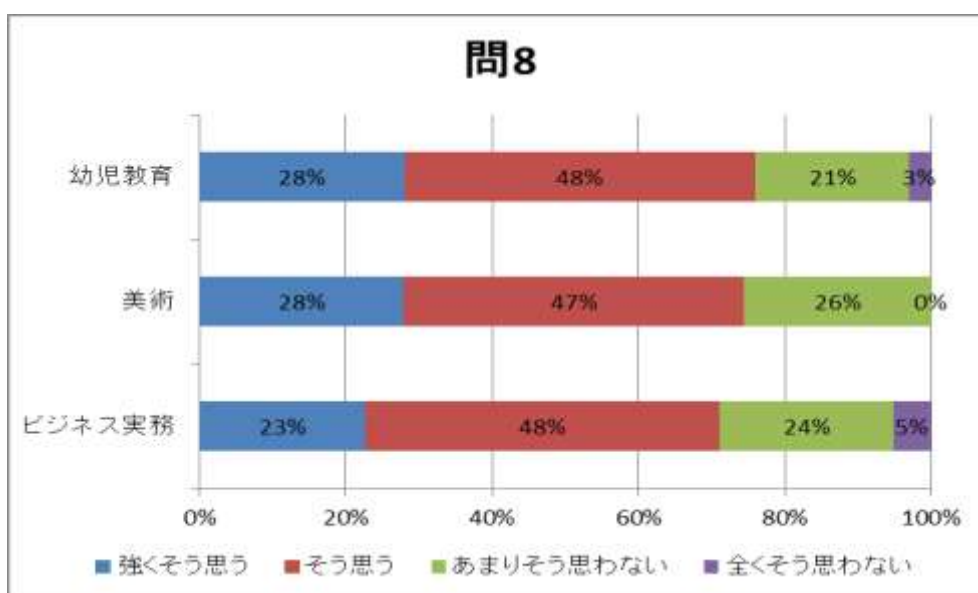


全学科で95%を超える学生が肯定的回答を選択している。学修内容に対する満足度は高いといえる。

問7. 視野が広がった

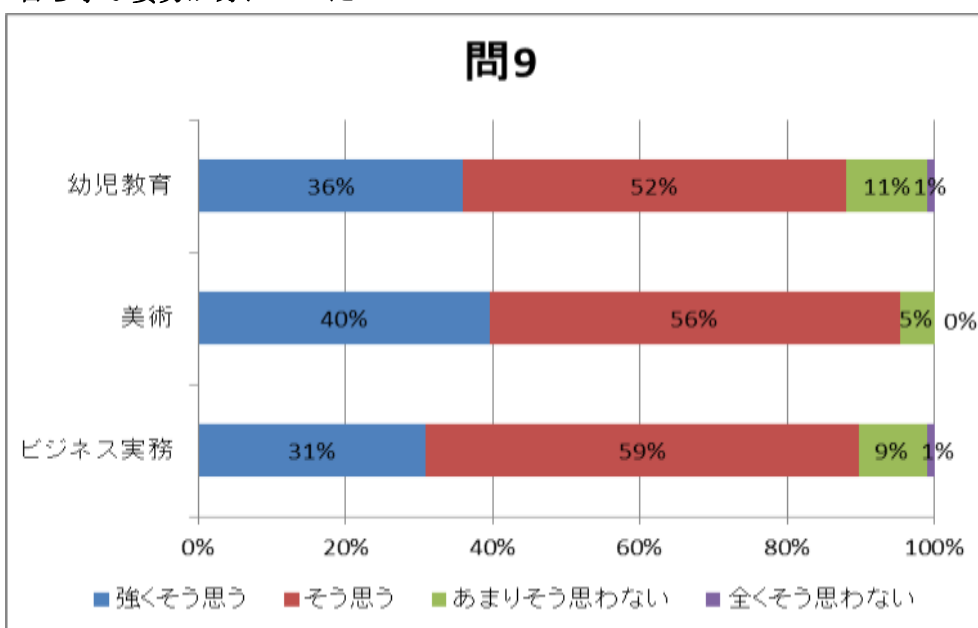
情報処理機器の不具合により、統計データが得られず。

問8. 忘れられない感動的な授業があった



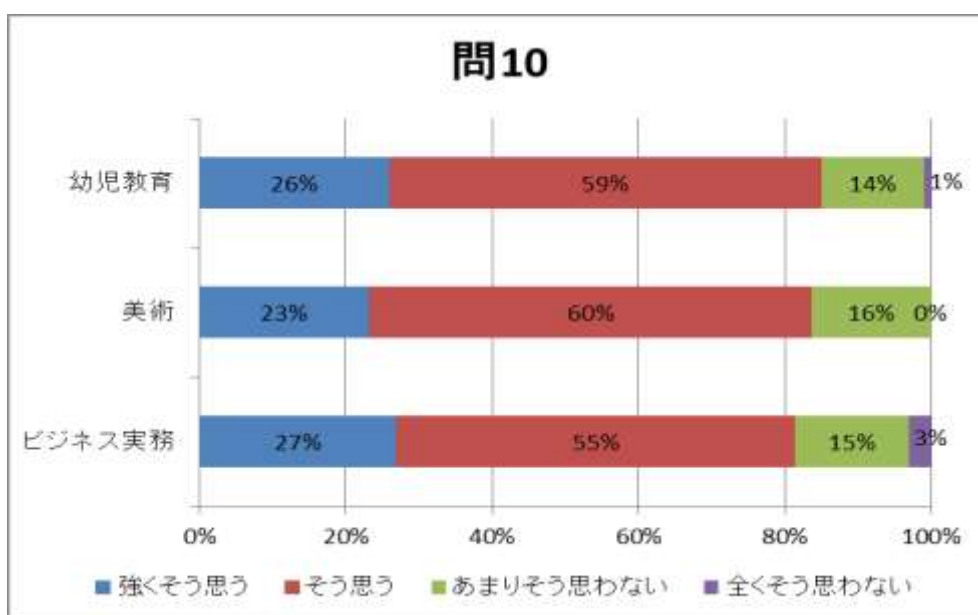
肯定的回答は幼児教育76%、美術75%、ビジネス実務71%であった。全学科ともまだまだ評価は低い。より人間性がにじみ出る授業のあり方について、さらに検討が必要である。

問9. 自ら学ぶ姿勢が身についた



肯定的回答は幼児教育学科88%、美術学科96%、ビジネス実務学科90%の結果であり、昨年度と同様、高い割合であった。幼児教育学科では課題や実習に向けての取組みを支援したこと、美術学科では作品制作や課題への取組みを支援したこと、ビジネス実務学科に関しても検定試験対策やゼミナール活動を支援したことが、こうした結果につながったと推測する。

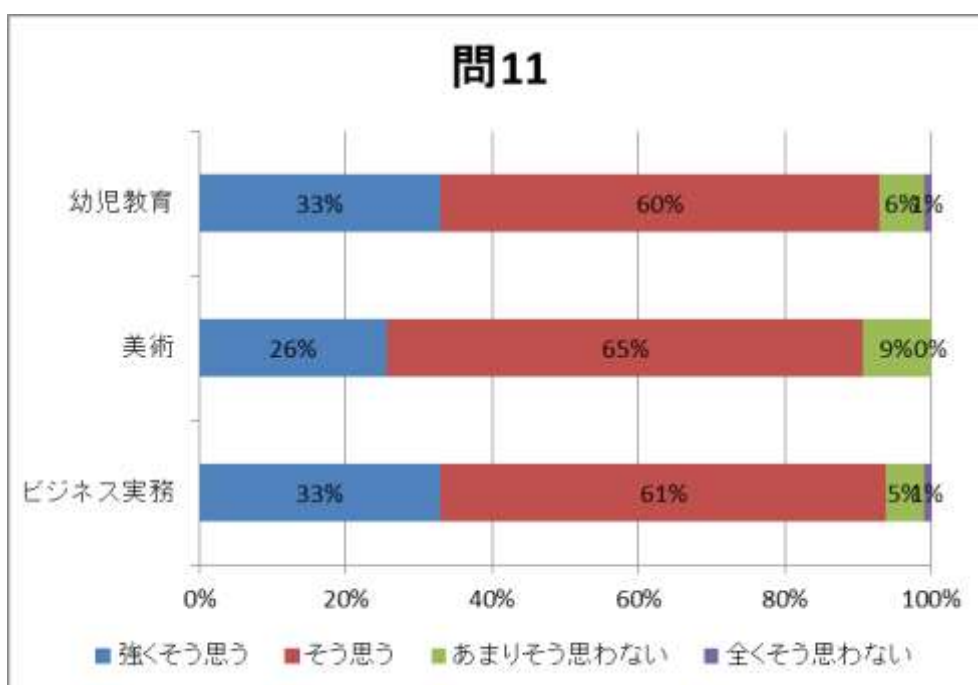
問10. 入学時に立てた学習目的は達成できている



全学科で20%近くの学生が否定的回答を選択しているが、1年次は基礎的な授業が多いことによると考える。2年次からは専門的な学習が多くなることから、2年間を通じて満足度が向上すると期待する。

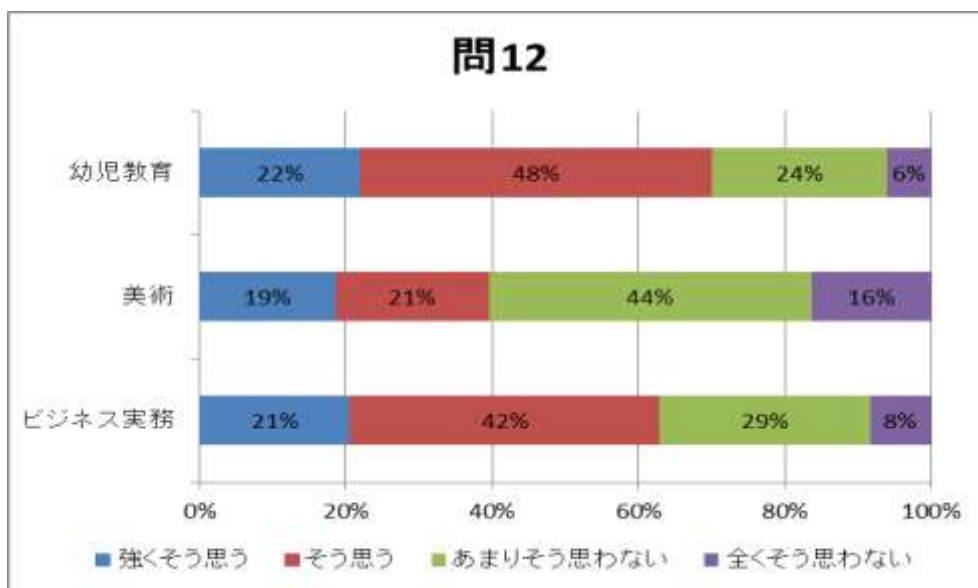
②進路について

問11. 今後の進路について考える機会を得られている



全学科でキャリア教育や実習、インターンシップを設定し、将来の進路について考える機会を設けている。肯定的回答は幼児教育学科93%、美術学科91%、ビジネス実務学科94%であり、高い割合であった。継続して進路を考える機会を提供していきたい。

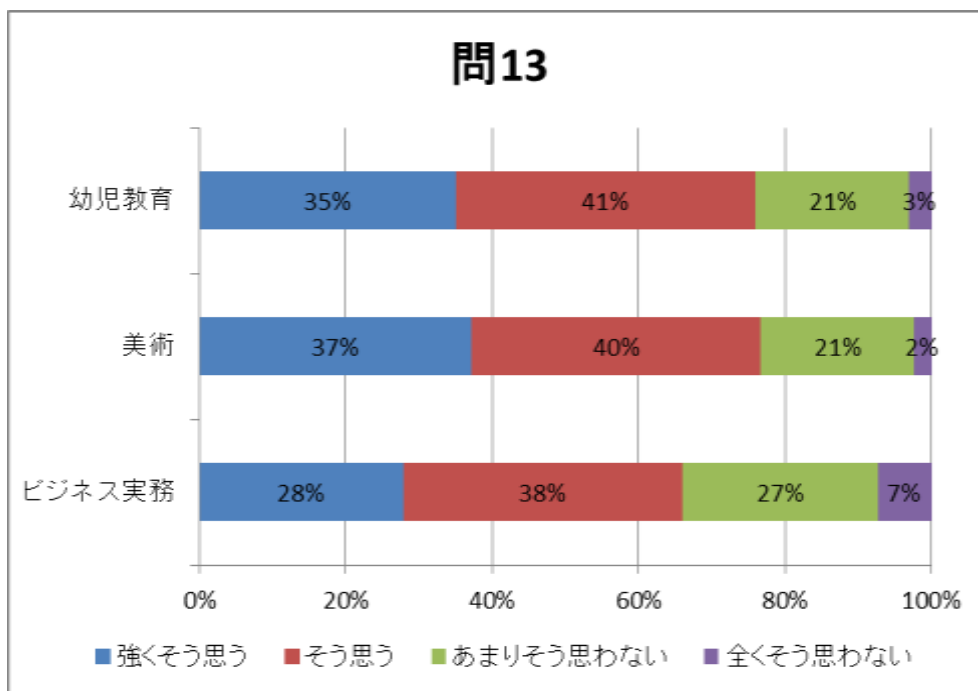
問12. 卒業後の目標が決まった



幼児教育学科は保育士や幼稚園教諭など、卒業後の明確な目的を持って学修に取り組んでいることから、70%の学生が肯定的回答をしている。美術学科とビジネス実務学科は、1年次では目標が定まっていない学生が多いが、1年次から将来の目標を意識するよう支援を行いたい。

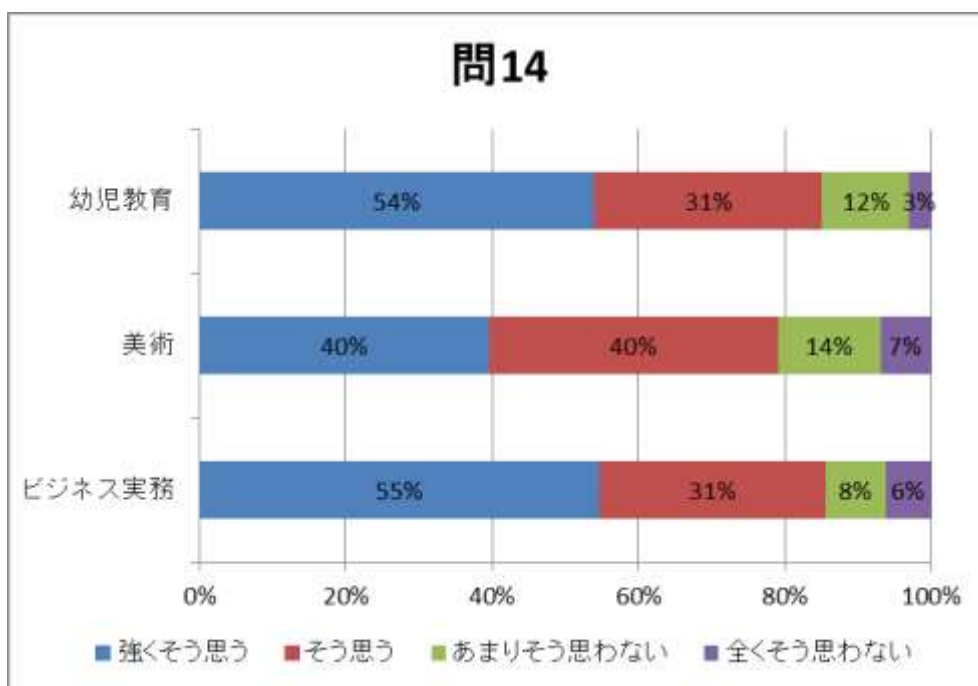
③学校生活について

問13. 自身の模範となるような教職員に出会えた



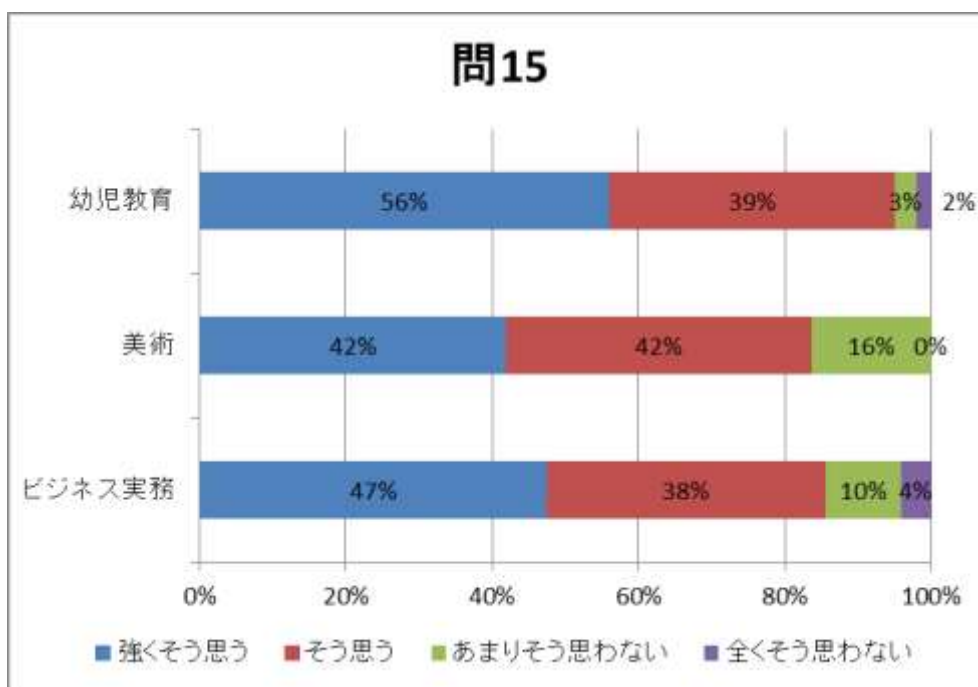
全学科で60%を超える学生が肯定的回答を選択している。学生に良い影響を与えられるよう、さらに満足度を高めていきたい。

問14. 親友と呼べる友人に出会えた



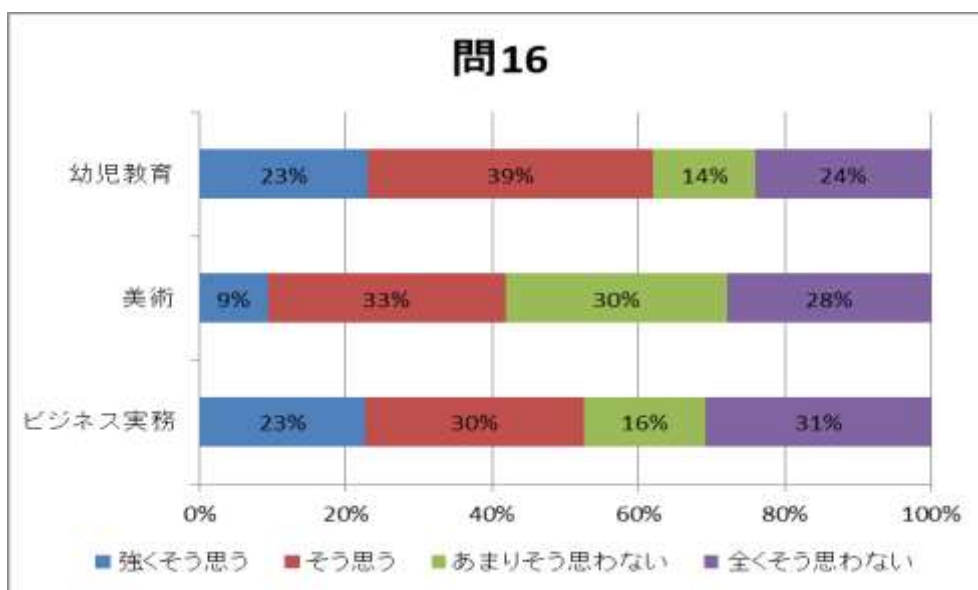
全学科で80%を超える学生が肯定的回答を選択している。クラス制であることから、授業以外の時間も一緒にいることが多く、学生間の友人関係が非常に強くなっていることによると推測する。

問15. 学内行事が充実していた



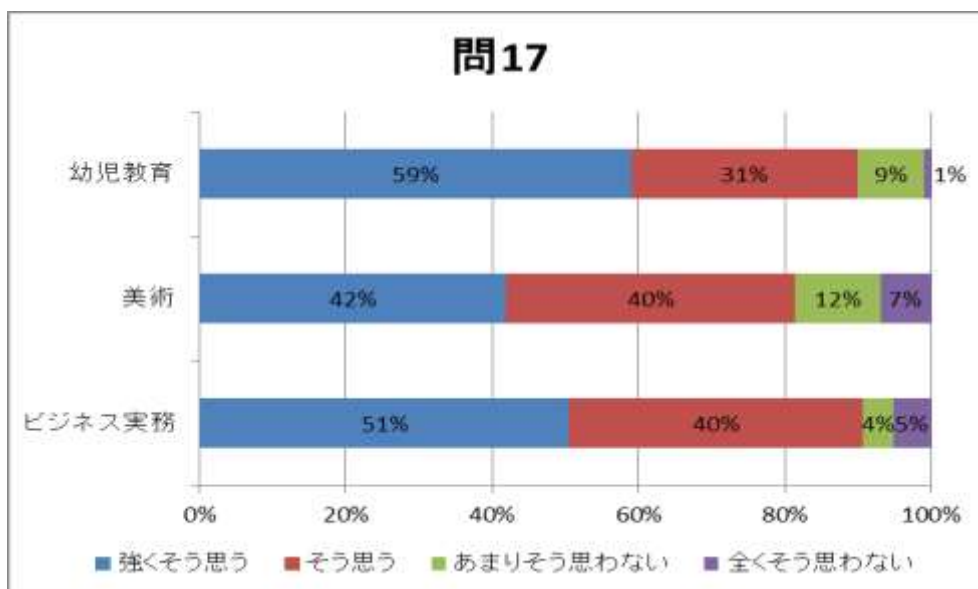
全学科で80%を超える学生が肯定的回答を選択しており、昨年度同様満足度が高い。2019年度の体育祭は、内容を一新して学生全員が楽しめるような内容に変更することを計画しており、更なる満足度の向上を図りたい。

問16. 部活動・サークル活動が充実していた



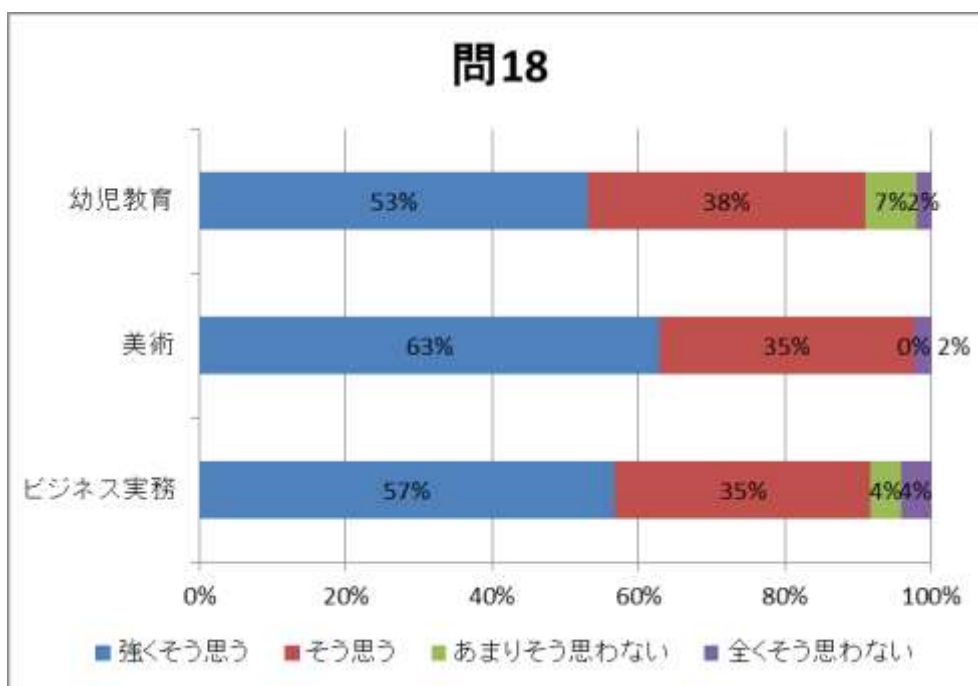
クラブ・同好会に所属している学生は140人と少ない。否定的回答が多いのは、アルバイト等のためクラブ・同好会に所属しない学生が多いことが考えられる。予習復習、実習、資格試験勉強、作品制作等で忙しい中でも、積極的に活動しているダンス部や児童文化研究会、地域間交流研究会などもあり、充実した活動を広く紹介していきたい。

問17. 不安や悩みを相談できる相手がいた



肯定的回答は、幼児教育学科90%、美術学科82%、ビジネス実務学科91%であり、全学科で昨年と比べ肯定的回答が大幅に増加した。相談相手がいない少数の学生に対して、クラス担任を中心として、教職員全体で支援を行いたい。

問18. 全体として短期大学生活に満足している



全学科とも満足度は高い。特に美術学科は「強くそう思う」と感じている学生が60%を超えている。1年間の学生生活を通して、大半の学生が満足している結果となった。

III. 自由記載

幼児教育	Wi-Fi がほしい
	テスト持ち込みありにしてほしい
	ネット環境が悪いのでWi-Fi を付けてほしいです。
	各教科で一気に課題を出されるとしんどいです。
	授業の一環で携帯で調べ物をする中でインターネット環境が悪かったりするときがあるのでWi-Fi を取り付けてほしいです。外にある鯉が泳いでいる池が汚くて鯉がかわいそうなので池をきれいにしておいてほしいです。(みんなからもらっている授業料をわかりやすく有効活用してくれたらうれしいです。)
	進路や友人関係などで悩み事があると、気軽に相談に乗ってくださる先生や 親身になって聞いてくださる先生方がたくさんいらっしゃるの一人暮らしの不安、学業の不安、友人関係の不安、進路の不安などの自分の負担を軽減することができてとてもよかった
	大学側だけでなく短大側にも、購買があったら嬉しい。
	短大にも、コンビニが欲しいです。あと、バスの時間8時50くらいに来てほしいです。
	駐車場の白線が消えていて 駐車する際にみえづらいです。
	入学式のあとや、説明会とかでサークル紹介としてダンス部の宣伝をしたい。

美術	Wi-Fi が iPad、iPhone だとつながらないです。（パソコンはつながるらしい）せめて治らなくても原因が知りたいです。駐車場の白線が消えかかっている少し怖いです。塗りなおしてほしいです。美術棟のトイレの入り口の壁（？）むしろ人にぶつかりやすくなったのであれ何のために設置されたんですか
	コピー機のインク RGB になったらいいなと思ってます。Wi-Fi 繋がるようにしてほしいです
	デザインの部屋のインクを RGB にしてほしい。
	デザインの部屋のコピー機の調子が悪いです。
	ネットが使えないので改善をお願いします
	空調が効きづらいことと、コピー機がよく止まることが不満ですがほかに対しては特にありません。
	購買が、短大から少し距離があるので、簡易的なものでいいので、夜、売店で販売をしていただきたいです。
	図書室に華道の本をもっと増やしてほしい。
	特にないです。満足してます。
	美術学科の Wi-Fi が全くつながらないです
	美術棟と短大棟の間の道に水たまりができやすく、雨が降った日に屋根から落ちる水がすごく跳ねるのでなおしてほしい 美術棟トイレに全身鏡がほしい
	美術棟のトイレをどうにかしてほしいです
	1年間楽しく学ぶことができました。
	ビジネス実務
できれば、食堂のお茶のコップをお昼以外にも置いておいてほしいです。	
トイレに手を拭く紙が欲しいです。短大側にも駐車場が欲しいです。	
トイレの水圧を強くしてほしい。短大から売店が遠い。	
学校の電波を良くしてください。	
欠席回数の把握や遅刻時間のカウントのあやふやな先生がいたので把握してほしい	
駐車場を広くしてほしいもっと止めれるようにしてほしいです	
駐車場を広くして近い場所にしてほしい 売店を短大にも作ってほしい 教室が古い校舎が古い 学内禁煙にしてほしい トイレを匂いなしにしてほしい トイレにおとひめを全部につけてほしい	
朝9時以降もシャトルバスを出してほしいです。 短大にも売店がほしいです。	
売店をでかくするか、コンビニを置いてほしい。 短大側から近くに自販機を置いてほしい。 教室の掃除がいきわたっておらず、ほこりまみれで汚いので、掃除当番をしっかりと決めるかどうにかしてほしい。	

※ なお、個別の教職員に対するコメントや不適切な表現を含むコメントは削除しています。

IV. 今年度の結果について（30年度）

前年と比較して、全体の回収率は同様の水準を確保したが、学科によって回収率の増減があったことから、学生への周知を徹底しなければならない。全体を通して『問22. 全体として短期大学生活に満足している』の回答では、全ての学科において、肯定的回答の割合が高く自由記載の回答から見ても、充実した学生生活であったことが伺える。

各設問では、『問3. 担任教員の対応に満足できた』については、美術学科およびビジネス実務学科は否定的回答が少なく概ね満足しているが、幼児教育学科については、19%の否定的回答となった。担任教員によって学生への不平等を無くすために、担任業務の点検や担任間の連携が必要であると考えます。

『問7. 教室・トイレ・駐車場』については、これまで学生からの不満回答が多い項目であったが、満足度が大幅に増加した。教室は2018年度の空調改修工事を終えて、各教室で温度調整が可能となったこと、トイレは2018年度に和式から洋式に改修工事を行い、課題が改善されたことが満足度の向上につながったと考える。ただし、自由記載ではトイレに関する改善要望のコメントが数件あり、今後も継続的に改善を図る必要がある。

駐車場についても、2018年度に社会福祉学部棟側の砂利駐車場を一部舗装し、雨天時の水溜りは改善したが、駐車場の白線が消えかかり駐車しづらいという自由記載コメントもあることから、今後も継続的に整備点検を行う必要がある。

『問8. インターネット環境・学内設置パソコン』については、インターネット環境では、自由記載コメントを見てもFree-Wi-Fi設置の要望が多く、現状では学生の要望に応えられていない状況である。Free-Wi-Fiは、授業環境改善のための要望か、私的使用のため要望かを確認したうえで、他大学の取組みを参考に、今後検討を行う必要がある。

その他の自由記載では、ハード面に関する要望が多い結果となった。学生部は、学生へきめ細かに対応することで学生の学校生活でのニーズを正確に把握し、学生の学修環境および生活全般をさらに改善していきたい。